

「社会福祉充実残額」から 得られる視点とポイントとは ～社会から求められていることを理解し、 法人経営に活かすために～

CONTENTS

- 02 *Activity Report* 経営協の活動紹介
経営協組織の活性化と双方向性の向上に向けて
法人の要となる職員の育成に向けて
- 04 論点
「輝くことができる社会福祉法人とは」
毎日新聞論説委員 野澤 和弘
- 06 地域生活を支える社会福祉法人 第158回 希清軒傳六会[石川県金沢市]の試み
地域から信頼される法人になるため
他法人との連携により地域ニーズの把握と活動に取り組む
社会福祉法人 希清軒傳六会 理事長 石黒 喜美枝



みんなの「生きる」を
社会福祉法人

丸みのあるやさしい楕円は、社会福祉法人が目指す「多様性を受け容れる社会」や「一人ひとりの心の温かさ」を象徴しています。3つの重なりから浮かび上がる、人の文字で、人と人が支え合い、誰もが安心して暮らせる地域をつくり、「その人らしく生きる」を守り抜く、社会福祉法人の理念を表現しています。

- 12 **特集** 社会福祉法人の経営強化に活かす
社会福祉充実残額分析の視点
— 残額算定、計画策定を「ゴール」にしない —
- 13 **【鼎談】**
社会福祉法人経営者は「社会福祉充実残額」から何を考えるべきか
— 残額算定、計画策定を「ゴール」にしない —
- 19 **【座談会】**
地域から信頼されるための法人経営とは
— 社会福祉充実残額、社会福祉充実計画の考察と法人の将来ビジョン —
- 28 シリーズ 経営者の視点 第41回
事業計画は、まちづくり。
町全体を巻き込んで、いつまでも住みやすい町へ
(長崎県)社会福祉法人明和会 業務執行理事 特別養護老人ホームゆうゆうの里 施設長 門原 淳一
- 34 経営協の動向 報酬改定への対応をはじめ、重点課題への取り組みを検討
- 36 関連情報 社会福祉法人関係／高齢者福祉・障害福祉関係
- 38 事務局短信